

# ひびき

令和8年1月30日(金)  
静岡大学教育学部  
附属静岡小学校  
3年 学年便り 2月号

## 「心」と「体」の“エネルギー”満点なひびきの子

冬休み明け、教室に入ると「先生、家族で〇〇に行ってきたんだよ!」「冬休み中にさ、〇〇の大会で頑張ったよ」などと、冬休み中の思い出を矢継ぎ早にお話に来てくれる子たちがたくさんいました。しばらくすると、校庭でドッジボールをしていた子たちも教室に戻ってきて「あけおめ~!!!」と大声で新年の挨拶をしてくれました。朝一番から外で遊ぶ子たちや次々にいろんなお話をしてくれる子たちからは、エネルギーをたくさん感じます。きっと、冬休み中に「心」と「体」の“エネルギー”を十分に蓄えてきたのだろうなと思いました。さらに、ひびきの子たちがステキなのは蓄えてきた「心」と「体」の“エネルギー”を授業や行事へしっかりと向けていることです。

早速、授業では「はいはい!」「ぼくに言わせて!!」「私が言いたい!!」とたくさんの子たちが全力で授業に参加しようとしています。また、自分の考えをもてると、残った時間を無駄にしないように、自分の考えを自ら友達へ伝え、交流している子たちもいました。これをひびきの子たちは、先生に何も言われずに自然とやっているのです。素晴らしいですね。

1月の行事としては「特別支援学校交流会」がありました。各クラスで、特別支援学校の子たちに自分たちのことを知ってもらうにはどんな出し物をすればよいのか話し合ったり、交流相手の子の好みを意識しながら自己紹介カードを作成したりしました。出し物を話し合うときも「3年生と言えば、星影のエールじゃないのかな?」「今、みんな歌のことばかり言ってるけどさ、歌だけで本当に自



分たちのことを知ってもらえるの?」「あ!じゃあ、附属小のよいところも紹介できるようにしてみようよ」などと、出し物を通して自分たちのことを楽しく知ってもらえるようなアイデアを真剣にみんな考えていました。当日は、ひびきの子のエネルギー全開で出し物をやり切っていました。また、自己紹介カードを交換して、いろんなお話をする時間になった時には「どんなモノが好きなの?」「好きな食べ物は何?」

と自分たちからたくさん質問を投げかけて相手のことを知ろうとすることに一生懸命な様子も見せていました。時々、相手の子が恥ずかしがって質問に答えられなかった時には「大丈夫だよ」「ゆっくりでいいからね」「じゃあ、僕たちから答えるか」などと相手の子の気持ちを想像して行動しようとする姿もありました。「特別支援学校交流会」という行事を、ただ楽しい時間で終わらせようとせず、相手のことを知ろう・自分たちのことを知ってもらおうということに“エネルギー”を注いでいるのが印象的でした。



さて、このような姿を見せてくれているひびきの子たちは、次はどんなことへ「心」と「体」の“エネルギー”を向けていくのでしょうか。1月に行われた書き初めの授業では、新年の抱負を書きました。上達したいという思いを込めて「サッカー上達」、自分の目指したい生き方を記した「有言実行」「元気」、授業で頑張りたいことを記した「国語の力」など、一人ひとりの願いを書き初めに記していきました。これからも「心」と「体」の“エネルギー”をいろんなことへ向けて、たくさんの成長をしていくひびきの子たちに私たち職員も全力で“エネルギー”を傾けていきます。